

令和元年度決算に係る

定期監査
資料
決算審査

令和2年7月

商工労働部兼農林水産部
市場開拓局 販路拡大・輸出促進課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2
6	決算資料（総括表）	6
7	事業別実施状況調べ	7
8	予備費の充用調べ	9
9	繰越関係調べ	9
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
10	収入証紙取扱額調べ	9
11	現金の取扱状況	9
12	財産に関する調べ	10
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
13	財産の貸付及び使用許可調べ	12
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	13
15	職員駐車場の管理状況調べ	13
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
16	寄附物件の受納状況調べ	13
17	備品の処分状況調べ	13
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
19	貸付金等状況調べ	13
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
20	意見、要望等	13

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
平成30年度食の安全・安心プロジェクト推進事業委託契約について、発注伺を作成しておらず、予定価格調書を作成していなかった。	契約に関する各種通知を統合して契約に係る事務手続きをまとめた「契約事務処理要領（平成30年10月30日制定）」に見積を徴さないことができる場合として「2号随契において、その性質又は目的により、県があらかじめ定めた価格で契約するとき」が追加されたので、今後は、見積書を徴さない場合（発注伺、予定価格調書も不要）は、この規定に該当するかどうかを十分確認することとした。
「食のみやこ鳥取県」輸出促進活動支援事業費補助金について、変更交付申請書の受理が遅延しているものがあった。	県担当者が重ねて変更交付申請書の提出を補助事業者の担当者に促したが、提出がなかったことが原因であるが、県も、補助金等交付事務の適正化について（平成29年鳥取県総務部長通知）で定められている、補助事業の流れを説明するためのフロー図「補助金の事務手続きについて」（補助事業者へ提示する補助金手続き案内）による説明を行っていなかった。 再発防止のため、変更申請書の提出が遅延する可能性がある補助事業者には、担当者だけでなく上司等にも補助事業の流れのフロー図を提示し、変更交付申請書の提出を促すこととする。

(2) 監査意見 ……該当なし

(3) 決算審査意見 ……該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 ……該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備 考
	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	
定 員	9	9	4	4			13	13	市場開拓局長含む
現 員	() 8	() 8	() 5	() 5	()	()	() 13	() 13	
過不足(△)	△1	△1	1	1	0	0	0	0	
臨時職員						0	0	0	
非常勤職員						0	0	0	

4 役付職員の調べ

(令和2年7月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間(年/月)		備 考
市場開拓局長	梅田 正彦	1	3	
販路拡大・輸出促進課長	上月 光則		3	
参事	渡邊 比呂志		3	
課長補佐	山根 貴徳	1	3	
課長補佐	羽田 直樹	4	3	
課長補佐	盛山 勝一郎	1	3	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
「食のみやこ鳥取県」輸出促進活動支援事業	45,842	22,238	0	23,604
鳥取元気プロジェクト	II 産業を元気に ⑨ 県産品輸出拡大や6次産業化などフードバレー戦略の推進			
元気づくり総合戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる ～鳥取+ismイズム～ (2) 農林水産業・豊かな食と技術が集積した「とっとりフードバレー」の形成			
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 県内事業者等が行う農林水産物等の輸出活動を支援し、海外での販路拡大や県産品の認知度向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 消費市場が拡大しているアジア圏及び販路開拓等の可能性があるEU圏への輸出事業者の拡大及び県産品の販路拡大のため、物産展、レストランフェア、バイヤー招聘等を実施した。また、インバウンド施策と連携し、香港、台湾を中心に物産展等を開催し、鳥取県産品の知名度向上と販路拡大を図った。</p> <p>【香港での県産品のブランド化を推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取すいかフェアの開催(7月)⇒イオン香港全11店舗での販売が定着 ・鳥取岡山徳島観光物産展 in イオン(9月)⇒二十世紀、新甘泉、鳥取和牛の売れ行きが好調 ・鳥取和牛レストランフェアの開催(9月)⇒肉質日本一をPR(和牛焼肉純、広東料理店「西苑酒家」) ・高級ホテルでの蟹フェアの開催(6月)⇒紅ズワイガニ販売で蟹取県をPR(マリオットホテル) ・高級飲食店を多数展開する蟹慶グループのバイヤー招聘(1月) <p>【台湾での県産品のブランド化を推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新甘泉PRプロモーション(9月)⇒新甘泉の増産を見据え知名度をアップ(新興三越、裕毛屋、等) ・台中高級スーパーでの鳥取物産展(10月、2月)⇒友好提携先での鳥取県の知名度向上(裕毛屋) ・鳥取和牛レストランフェアの開催(3月)⇒肉質日本一をPR(和牛賀) ・高級百貨店と農産物取引のある商田實業のバイヤー招聘<国際BC委託>(7月) <p>【新マーケットの開拓に向けた動きを加速】</p> <p>《シンガポール》松葉ガニ等、水産物をメインとしたシェフ向け商談会、メディア向けPR試食会、レストランフェアの開催(8月、2月)⇒実施レストラン(TAKAYAMA)での日本酒の取扱いが決定</p> <p>《韓国》鳥取フードフェア in 新世界百貨店(4月)⇒大山乳業商品を始めとした県産品の輸出拡大</p> <p>《ロシア》バイヤー招聘(12月)⇒アルコール飲料の販路拡大</p> <p>《日欧EPA》サロンデュウサケ出展、フレンチレストランでのメディア向けプロモーションランチ(10月)⇒日本酒等の販路開拓</p> <p>《中国》高級百貨店やスーパーを展開する欧亜集団のバイヤー招聘<国際BC委託>(9月)</p> <p>【個々の事業者の販路開拓活動を下支え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出エキスポ出展<国際BC委託>(11月)⇒県内6社が出展し商談を実施 ・現地に渡航しての商談会参加、展示販売会実施、物産展出展など輸出に取り組む県内事業者の輸出促進活動を支援する「食のみやこ鳥取県」輸出促進活動支援事業費補助金を活用し、アジアを中心に水産物や加工食品等の販路開拓を試みる県内事業者が増加 <補助金活用事業者数> H26:20⇒H27:29(新規15)⇒H28:28(新規10)⇒H29:33(新規11)⇒H30:30(新規9)⇒R1:31(新規10) <p>イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>【香港】鳥取和牛レストランフェアの実施店を増やし、肉質日本一の更なる情報発信、ブランド化を促進した。</p> <p>【香港】高級ホテルでの蟹フェアによりベニズワイ蟹や日本酒の取引拡大、知名度向上を図った。</p>				

- 【台湾】輸出拡大が期待される新甘泉の現地メディア（TV、WEB）でのPRを強化し、知名度向上を図った。
- 【台湾】鳥取和牛レストランフェアを初開催し、鳥取県及び鳥取和牛の知名度向上を図った。
- 【シンガポール】シェフ及びメディア関係者を招待してレストランフェアのプレイベントを開催し、販路拡大・知名度向上を図った。
- 【ロシア】輸入規制が厳しいため、ロシアへの輸出可能品の発掘及び商流構築を目指した。
- 【韓国】前回開催時よりも出展事業者数が増加（13→18）し、食を通じた鳥取県の知名度向上を図った。
- 【EU】日本酒見本市出展により関税撤廃で他産地と競争が激化している日本酒等の取引拡大を支援した。

ウ 成果及び効果

・農林水産物等の輸出額

[H26]3.4億円⇒[H27]5.6億円⇒[H28]5.8億円⇒[H29]10.4億円⇒[H30]13.0億円

- 【全体】物産展、商談会、バイヤー招聘により、県内事業者が外食店、食品卸、スーパー等で新たな販路を開拓。
- 【香港】イオン香港で定期的に鳥取産品が店頭並び、イオン香港の顧客への鳥取県の知名度が向上。
- 【台湾】PR強化により新甘泉の知名度が向上。高級焼肉店での鳥取和牛レストランフェアを初開催。物産展開催により友好提携先での鳥取県の知名度が向上、また、お米やだしの素などが定番化。
- 【シンガポール】レストランフェアを通じ、高級水産物等の販路拡大を図るとともに、食を通じて鳥取県の魅力を発信。
- 【ロシア】参入が難しいアルコールの輸入ライセンスの取得が見込まれる商社を招聘し、商談会を開催。
- 【韓国】新世界百貨店で2年連続観光物産展を開催し、食を通じて鳥取県の魅力を発信。
- 【欧州】日本酒見本市出展により1社1件の取引が成立。
- 【国内】輸出エキスポ出展により2社4件の取引が成立。
- 【補助金】制度活用により、新たに10社が海外の販路開拓を図った。

エ 課題

（ア）TPPや日欧EPA等への対応

- 【TPP11】シンガポール、マレーシアは引き続き日本食材の需要拡大が見込まれ、新規の販路開拓に向けた継続的な取組が必要（シンガポールレストランへの高級水産物等の販路拡大、マレーシアバイヤー招聘）。
- 【日欧EPA】日本酒や緑茶等の関税が新たに撤廃され、他県産品との競争がさらに激化しているため、欧州市場開拓に意欲的な酒造業者を中心に支援が必要。

（イ）県産品の知名度向上、インバウンドとの連携

直行便で繋がる香港、韓国、訪日客の多い台湾、タイ等においてインバウンド施策と連携した県産品の現地プロモーション事業を実施するなど、引き続き誘客と輸出促進の相乗効果を図る取組が必要。

（ウ）新型コロナウイルスの影響

世界における新型コロナウイルスの感染拡大が収束しておらず、人の移動を伴う販路拡大が困難の中、オンラインによる商談会、越境ECの活用などインターネットを活用した販売促進ができる環境整備の推進が必要。

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
「食のみやこ鳥取県」ブランド化加速事業	48,274	24,099	0	24,175
鳥取元気プロジェクト	Ⅱ 産業を元気に ⑪ トップブランド戦略を含め食のみやこ県産品ブランド化事業			
元気づくり総合戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる ～鳥取+ismイズム～ (2) 農林水産業 ・豊かな食と技術が集積した「とっとりフードバレー」の形成			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
情報発信力の高い首都圏におけるメディア露出のほか、鳥取和牛オレイン55、五輝星(松葉がに)、新甘泉(梨)、輝太郎(柿)などの高品質ながら生産量が限られる品目について、情報発信力の高い首都圏を中心として国内外のハイエンド客層に対する情報発信により一層高級ブランドとしてのイメージ定着を図る。				
(イ) 事業の実施状況				
ハイエンド客層にむけたPR				
雑誌「ナイルスナイル」	富裕層向け雑誌「ナイルスナイル」とミシュラン三ツ星料理店「元麻布かんだ」とのタイアップ事業 ・神田氏による鳥取県産地視察(7月) ・「元麻布かんだ」で、神田氏と鳥取県の地元料理人5人との饗宴イベント開催(10月) ・タイアップ記事掲載(8, 9, 10, 11月号)			
婦人画報	婦人誌婦人画報(8月号)に鳥取和牛のタイアップ記事を掲載するとともに付録「婦人画報のお取り寄せ」に鳥取和牛ギフト商品を掲載			
有名百貨店でのフェア開催	銀座三越(9月)、伊勢丹新宿(10月)、日本橋三越(11月)			
外国人に向けたPR				
英字新聞「ジャパントゥタイムズ」	知事インタビュー記事等掲載(7月)			
新幹線での新甘泉PR	JR西日本の「ハローキティ新幹線」において、新甘泉の試食PRを実施(8月)			
ホテルニューオータニ	外国人利用客の多いホテルニューオータニ東京での鳥取和牛フェア開催(6～8月)			
大阪心斎橋での情報発信	外国人旅行客の特に多い大阪心斎橋において、鳥取和牛専門のレストランと連携したインバウンド誘客、県産食材活用、県産材の活用などの広報PR			
機動的な情報発信				
ギネス世界記録認定などによる話題性	特選とっとり松葉がに五輝星の初セリ値ギネス世界記録認定(12月)にあわせてお披露目イベントなどの実施			
日本フードサービス協会商談会	外食、中食関係事業者が集まる日本フードサービス協会と連携し、会員企業21社による県内視察と、県内事業者23社とによる商談会を実施(7月)			
料理人・料理業界に向けたPR				
雑誌「専門料理」との連携とシェフのネットワーク構築	シェフの産地視察(10月、1月) 食材セミナーの開催 とっとりジビエ(2月)、鳥取和牛(11月) レストランフェアの開催 とっとりジビエ(8～9月)、鳥取和牛(2月) 各取組に係る「専門料理」へのタイアップ記事掲載(2回) こうした取組による鳥取にゆかりのあるシェフ約300名とのネットワーク交流を強化			
世界的な料理大会「ボキューズドール」と連携した取組	世界大会への出場者を決める日本大会決勝のテーマ食材として「鳥取和牛」が採用(10月) 前日本代表高山シェフによる米子南高での実演・講演(11月) 日本代表戸枝シェフ等による県内視察(2月)			
メディア等を活用したPR				
羽田空港での巨大看板掲載	モノレール羽田空港第2ターミナル駅において、鳥取和牛(6～9月)、星空舞(10～11月)、松葉がに(12～2月)の巨大看板を掲載して大々的にPR			
テレビ番組誘致	全国放送のグルメ、旅番組などにおいて鳥取県食材を取り上げてPR			

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ マスメディアの幅広い層への情報発信に加え、富裕層や外国人に特化した認知度向上の取組強化
- ・ 複数の事業をまとめて統合し、臨機応変で訴求力の高い取組みを実施

ウ 成果及び効果

特産物の認知度調査の推移（※鳥取県広報課が実施した平成31年度鳥取県に関するイメージ調査より）

カニ 31.1%(R1)←27.8%(H30)、ジビエ 4.2%(R1)←3.5%(H30)、新甘泉 6.7%(R1)←6.7%(H30)

エ 課題

- ・ 東京オリパラや国際定期路線の就航に向けて、外国人・インバウンドに特化した取組を強化していく必要があるが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、先行きが不透明であり、臨機応変な対応が必要とされる。
- ・ ハイエンド客層に対する高級ブランドイメージの醸成や料理人と連携した料理業界内での認知度向上を図る取組は継続して実施する必要がある。

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額 繰越額 繰越額	計 A					
歳 入	農林水産業費 国庫補助金	61,265,000	△4,916,000	0	56,349,000	50,206,828	50,206,828	0	0	
	商工費 国庫補助金	2,326,000	17,500,000	0	19,826,000	19,603,425	19,603,425	0	0	
	財産貸付収入	6,000	0	0	6,000	6,000	6,000	0	0	
	雑入	0	0	0	0	72,956	72,956	0	0	
	合 計	63,597,000	12,584,000	0	76,181,000	69,889,209	69,889,209	0	0	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額					決算額 B	決算額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A		本庁	出納 機関			
歳 出	農業総務費	152,544,000	△6,832,000	0	0	145,712,000	134,052,938	133,418,618	634,320	0	11,659,062	
	商業振興費	46,304,000	0	0	0	46,304,000	44,450,921	44,450,921	0	0	1,853,079	
	中小企業 振興費	35,819,000	28,824,000	0	0	64,643,000	57,300,992	57,300,992	0	0	7,342,008	
	観光費	7,903,000	△1,400,000	0	0	6,503,000	5,735,238	5,735,238	0	0	767,762	
	合 計	242,570,000	20,592,000	0	0	263,162,000	241,540,089	240,905,769	634,320	0	21,621,911	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	当初 予算額 A	補正 予算額 B	支出済額 C	翌年 度 繰越 額 D	差引残額 E=A+B-C- D	執行率 F=C/A	事業の計画と実績・ 成果・不用額・執行 率
(農業総務費) (主)「食のみ やこ鳥取県」 輸出促進活 動支援事業	62,155,000	△9,832,000	45,841,886	0	6,481,114	73.8%	主な事業に関する調 べのとおり
食のみやこ鳥 取県推進事 業(おいしい鳥 取PR推進事 業)	38,824,000	0	36,308,930	0	2,515,070	93.5%	県内農協及び漁協に おいて、県内外への 販路開拓、商品開発 、地産地消の推進等 の取り組みがなされ た。また、生産者、地 域商社が、県外の販 路開拓活動及び県 産品のPRを行った。
GI(地理的表 示)保護制度 登録産品拡 大・ブランド化 事業	1,200,000	0	628,298	0	571,702	52.4%	GI登録産品としての 認知度向上の取り組 みがなされた。 【不用額の発生理由 】新型コロナウイルス により、 計画していた事業が 実施できなかったこと 等による
(主)「食のみ やこ鳥取県」 ブランド化加 速事業	50,365,000	0	48,273,824	0	2,091,176	95.8%	主な事業に関する調 べのとおり
関西インバウ ンド・TOTTO RI魅力発信 事業	0	3,000,000	3,000,000	0	0	—	大阪の飲食店と連携 し、外国人客の特に 多い大阪心斎橋にお いて、鳥取和牛をは じめとした食のみやこ 鳥取県をPRするとと もに、伝統工芸や観 光情報を発信した。
目 計	152,544,000	△6,832,000	134,052,938	0	11,659,062	87.9%	
(商業振興費) 食のみやこ鳥 取県推進事業(とっ とりの逸品販路拡 大支援事業)	17,431,000	0	16,082,431	0	1,348,569	92.3%	百貨店、量販店、飲 食店など様々な場所 で県フェアを開催す るとともに、大規模な見 本市に参加するなど 、県内事業者の県外

							に向けた販路開拓支援を行った。また、県外百貨店等とのマッチングや情報交換の場を提供した。
鳥取県物産協会運営費	28,873,000	0	28,368,490	0	504,510	98.3%	県外商談会や展示会への参加、百貨店への催事出展等を実施し、県産品の売込みを行った。
目計	46,304,000	0	44,450,921	0	1,853,079	96.0%	
(中小企業振興費) ふるさと産業支援事業	7,018,000	△2,100,000	3,748,754	0	1,169,246	53.4%	販路開拓8件、新商品開発1件、後継者育成3件の補助実績があり、事業者の新たな展開づくりに寄与している。
食の安全・安心プロジェクト推進事業	28,801,000	△4,076,000	18,552,238	0	6,172,762	64.4%	食品製造事業者の衛生管理技術の向上やHACCP、ISO等の認証取得支援を行うため、相談窓口を設置するとともに、研修会の開催、認証取得に要する費用に対する助成を行った。
フードビジネス拡大支援事業	0	35,000,000	35,000,000	0	0	—	製造事業者がドリップバッグコーヒー包装ライン増設により生産能力の増強ができ、海外での競争力強化に繋がった。
目計	35,819,000	28,824,000	57,300,992	0	7,342,008	160.0%	
(観光費) とっとり民芸振興事業	7,903,000	△1,400,000	5,735,238	0	767,762	72.6%	販路拡大と観光誘客を目的として、東京では松屋銀座、co-tori、また地方で上質顧客を持つ生活雑貨店にて展示会を開催。パリではインスタグラマーの発信力を活かした展示会を開催し来場者から好評を得ており、店との継続取引にも繋がっている。
目計	7,903,000	△1,400,000	5,735,238	0	767,762	72.6%	
合計	242,570,000	20,592,000	241,540,089	0	21,621,911	99.6%	

- 8 予備費の充用調べ . . . 該当なし
- 9 繰越関係調べ
- (1) 継続費逡次繰越調べ . . . 該当なし
- (2) 繰越明許費調べ . . . 該当なし
- (3) 事故繰越調べ . . . 該当なし
- 10 収入証紙取扱額調べ
有 ・ 無
- 11 現金の取扱状況
- ア 現金取扱状況 . . . 該当なし
- イ つり銭の状況 . . . 該当なし

12 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(令和2年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	施設名	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
普通財産	弓浜がすり 伝承館	境港市麦垣町86-2	2,764.26	43,902	増加	H				H	2,764.26	43,902	
					減少	H				H			
計			2,764.26	43,902			0	0			2,764.26	43,902	
合計			2,764.26	43,902			0	0			2,764.26	43,902	

イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	施設名	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
普通財産	弓浜がすり 伝承館	境港市麦垣町86-2	523.28	13,280 .666	増加	H				H	523.28	13,280 .666	
					減少	H				H			
計			523.28	13,280 .666			0	0			523.28	13,280 .666	
合計			523.28	13,280 .666			0	0			523.28	13,280 .666	

ウ 山林 . . . 該当なし

エ 不動産売却等 . . . 該当なし

オ 財産の交換 . . . 該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) . . . 該当なし

キ 物 権 . . . 該当なし

ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） . . . 該当なし

ケ 有価証券 . . . 該当なし

コ 出資による権利 . . . 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 . 無

イ タクシーチケットの受払状況

(令和2年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
36枚	0枚	23枚	13枚
		33,930円	

(3) 基 金 . . . 該当なし

(4) 債 権

(令和2年3月31日現在)

債権の名称	前 年 度 末		本 年 度 中				本 年 度 末		備 考
			増		減				
	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	
弓浜がすり伝承館（ 電力供給配電線支持 物設置のため）	円 6,000	1	円		円		円 6,000	1	
合 計	6,000	1					6,000	1	

1.3 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
普通財産	組合の行う伝統技術の伝承及び後継者の育成を支援し、産地の維持を図るため	境港市麦垣町86-2	2764.26㎡	H30.3.29	H19.7.1	H30.4.1～R2.3.31	月額・年額 0	0	境港市麦垣町86 鳥取県弓浜耕協同組合	文書ID: 17-00293937 無償貸与
	電力供給配電線支持物設置のため	境港市麦垣町86-2	電柱2本 支線2条	H27.2.25	H22.4.1	H27.4.1～R2.3.31	月額・年額 6,000	6,000	米子市加茂町2-51 中国電力(株) 米子営業所	
計								6,000		
合計								6,000		

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
普通財産	組合の行う伝統技術の伝承及び後継者の育成を支援し、産地の維持を図るため	境港市麦垣町86-2	523.28㎡	H30.3.29	H19.7.1	H30.4.1～R2.3.31	月額・年額 0	0	境港市麦垣町86 鳥取県弓浜耕協同組合	文書ID: 17-00293937 無償貸与
計								0		
合計								0		

(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）・・・該当なし

14 借受不動産明細調べ・・・該当なし

15 職員駐車場の管理状況調べ・・・該当なし

16 寄附物件の受納状況調べ・・・該当なし

17 備品の処分状況調べ・・・該当なし

18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

有 ・ 無

(2) 物品の照合

有 ・ 無

19 貸付金等状況調べ・・・該当なし

20 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等・・・特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等・・・特になし